

事業所名 柿が丘学園

公表日

令和8年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	2			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		・訪問先施設に合わせた振り返り方法を考え、先方も協力しやすい環境を整える。 ・事業所と受け入れ園共に複数の職員が参画できるよう意識している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		・年末頃に実施する。 ・意向や意見を真摯に受け止め、業務改善につながるよう意識している。	自己評価等の活用
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		・対象児と関わる職員らから、意見などを伺う機会を随時設け、可能な限り改善につなげたい。 ・その都度職員と意見交換をし、可能な限り業務に反映できるよう努めている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	外部評価については、毎年課題となっている。	外部評価・第三者評価の導入検討
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		・講師が実際に訪問支援を行う現場やフィードバックに同席させて頂いた。 ・情報は常に周知され、希望する研修に参加できる。今年度は実践研修の機会があり、学びが大きかった。	保育所等訪問支援の質の向上のための研修・研鑽 他事業所とのつながり
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		・本人の様子や保護者・訪問先の意見を元に、素案として経てた計画を、園長・副園長・児発管などと検討して作成している。 ・アセスメントと行動分析の精度が上がるよう意識している。	アセスメント方法の検討・精度の向上
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		・主に専任の訪問員が実際の支援を行っている。毎回の報告は欠かさずに行っている一方で、訪問員以外の職員が実際の姿を知らずに計画の検討を行う難しさがある。 ・園長・副園長も参画し、最善の利益を考慮して検討しているが、実際の姿が分からず訪問員頼りの面もある。定期的に行動観察の機会を意識したい。	

10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		・反映できるよう意識している。	アセスメント方法の検討
11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		・計画の確認や見直しなどには同席してもらい、保護者の同意を得て、写しを訪問先施設にも提出している。	
12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		・決められた様式は使用していない。 ・特にツールは用いていない。必要に応じて心理士の助言を仰ぐなど今後検討し、観察力や分析力のスキル向上を図りたい。	アセスメント方法の検討
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」を踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		・計画作成には、園長、副園長、児発管が関わっている。 ・園長・副園長も含めてかかわる職員で必ず共有している。	
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		・OTに同行してもらうケースがあり、支援前に目的や観察のポイントなどを十分に打合せを行う。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2			
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		・理念や手法を共有し、互いの利益となるよう意思確認をしている。	
18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		・詳細にそして確実に記録をとり、振り返りと今後について検討している。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		・毎回のフィードバックで確認し、その後の支援の参考にしている。 ・毎回支援後に確認している。また、相談支援専門員とも連携し、両者で確実にやっている。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解したものが参画しているか。	1	1	・訪問員と児発管が参加している。訪問支援は主に訪問員が行っているため、児発管が本人と実際に関わる機会がないため、児発管の見立てに不安がある。	
21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		・実際のケースはまだないが、連携の取れる状態であると理解している。	地域の関係機関との連携体制の構築

関係機関や保護者との連携	22	就園・就学時の意向の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		・必要に応じて、相談支援専門員を交えて相互理解を図る努力をしている。	就学移行支援の検証と向上
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	1	・外部研修の機会はあるが、専門家を招いたり直接助言を受ける機会はない。今後、検討していきたい。	研修機会の確保
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。		2		
	25	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について「共通理解を持っているか。	2		・訪問時にしか保護者と会う機会がないため、面談の時には共通理解が持てるよう努めている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2	・家族支援プログラムについては銘打って行ってはいない。	
保護者への説明等	27	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		・契約時に個別に丁寧な説明が行われている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		・契約時に同席してもらい、丁寧な説明が行われている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		・必ず、定期的に機会を設け、振り返りとアセスメントなど聴き取りを大切にし、重きを置いている。	アセスメント方法の検討
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		・必ず、確実に行っている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2		・必要時、迅速かつ丁寧な相談となるよう心がけている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2		保護者支援の目的と方法の検討
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		・迅速かつ丁寧な相談となるよう常に心がけている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		2		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		・ケースに応じてその場での回答を控え、十分に検討したうえで助言を行う。 ・必要に応じては、園長・副園長など複数職員と返答するなど、適切に対応している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		・各家庭の状況に合わせたフィードバック方法を考えている。 ・家庭によって共有方法を検討し、ケースに合わせて対応している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		・毎訪問先の担当職員と、毎回直接話す機会を作ることを心がけている。 ・信頼関係が築けるような場面でアンテナを張り意識して対応している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		・訪問支援独自のものはないが、訪問先施設に準ずる。 ・訪問先施設に準じている。	マニュアルの研究・整備
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		・訪問支援独自のものはないが、訪問先施設に準ずる。	計画やマニュアルの研究・整備 研修の実施
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		・該当ケースはないが、生じた場合の検討体制は整っている。	報告の徹底
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		・毎年必ず研修を受けており、虐待の意識を持って対応している。	研修機会の確保
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	1	・現在、該当のケースがないが、生じた場合は対応する準備がある。 ・組織的には明確にしている。今後、個別支援計画に記載することを検討していきたい。	研修機会の確保